

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サニーぶれいす		公表日 2026年 2月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・用途に合わせて2階の部屋(医務室や相談室など)をうまく使ってる	重度のこどもの対応のため個室も最大限に使って対応しているが、絶対数が足りない。パーティションなどで工夫する必要もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	・人数は位置的には最低児童指導員数に加え+3~5とかなり手厚く配置している	・とはいえ重度なこどもが多く1対1での対応が必要な子が1/3以上を占めるので足りない感がある ・男性利用者に対し男性職員が少なく、若手も少ない
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			・ホワイトボードで一日の流れを確認することができる ・部屋を状況に合わせて利用することができる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		広々して空間のため、ものを置かないようにしている。最低限の机・いすは壁際に配置、おもちゃなどは別室においている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別で利用できる場所がある	もっと個別で過ごせる場所があってもいいと思う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝のミーティングで様子を話し合うことができています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングや会議の場で話すことはできる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		今のところ、おこなっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・行きたい研修に行くことができる ・必要に研修は法人内の研修委員会や拘束・虐待防止委員会が準備をし、事業所内で受講できる ・年に1回法人内研修がある	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	ホームページ上で公開している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		全体でモニタリングをし、児発管が立てた案に対し、全員で話し合うことができています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		最善か？と問われると難しいが、今の状態が維持できる、ちょっとがんばっての目標設定にしている（通所が毎日ではないため、継続して支援することが難しい）
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		できている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		職員それぞれになっているところもあるので、統一化していく必要がある
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・こどもにとって必要なことは、その都度ミーティングで出して、改善しようはなしあっている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・草案は個人でおこない、ミーティングなどでそれぞれのこどもに合った方法を考えている ・職員それぞれに得意分野があり、それがいかせるようにしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・こどもによって固定（くりかえし）が必要な場合は、固定にしている。 ・活動内容がかぶらないように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもの状況（学年・障がい程度・好みなど）に応じて行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・放課後利用時は毎日ミーティングができている ・配置はみんなで考えるが役割までは決めておらず、その時の流れで行っている ・長期休暇など一日利用の時は職員だけミーティングをするのが難しいため、あらかじめ大きな流れを伝えている。	・役割分担（始まりの会の司会・配車・連絡帳係など）その時の状況で行ってきたが、いつも同じ職員が対応しており、イレギュラーの時の職員が育っていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・時間的に当日は難しいので、翌日行っている。 ・長期休暇などの一日利用が続くと難しいのでノートなどで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・毎日目標に対しても取っている ・改善の話し合いもできている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・半年に一度、家族に在所してもらいモニタリングを行っている 事前に職員間でモニタリングを行い 家族に伝えている。	
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	・偏りが無いようにプログラムに取り入れている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・選択しやすいように絵カードを使っている ・難しい時は選択肢を少なくしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管が参加している 可能であるときは2人体制で参加している	・サービス担当者会議を行っていない相談支援事業所を利用しているこどもが他事業所でどうしているか分からない
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		・それぞれ担当者ごとに対応もまちまちで十分に連携が取れているとは言えない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校からは情報が折れてこないことが多いので HPや家族からの連絡で調整している。 ・送迎時に学校の先生とのやりとりは積極的に行っている	・送迎時に先生がバスまで来ないこともあり、学校での様子が聞けないこともある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・主に家族からの情報を聞く	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所から聞かれると情報提供している。	こちらから積極的に行っていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	研修の機会があれば周知している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・法人の行事等は参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	・知的障害者福祉協会の児童発達部会や放課後等サービス連絡協議会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に伝えている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	家族を巻き込む(家族支援)形で研修や茶話会など出来たらいいが、平日は仕事・休日はこどもが家にいることで参加が難しい		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定・理由者負担金については契約時に伝えている</li> <li>・支援プログラムはモニタリングや、毎回の送迎時などで伝えている</li> </ul>	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の意向はモニタリング時や電話等で確認している</li> <li>・子どもの意向は選択をする機会を多く作っている</li> </ul>	・親の意向=子どもの意向ではない場合が難しい
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		電話や連絡帳、送迎時など対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前はしていたが今はしていない(参加者が少なかった)</li> <li>・家族を巻き込む(家族支援)形で研修や茶話会など出来たらいいが、平日は仕事・休日は子どもが家にいることで参加が難しい</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・よりよくなるように適宜改善・連絡を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のHPや事業所のInstagramで様子を伝えている</li> <li>・LINEを活用している</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・している 言葉や文字の説明だけでは難しい場合、写真や絵カードを用いている	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の行事(秋まつり)が恒例になり、地域の方々がたくさん来られている</li> <li>・近隣の散歩や地域の公民館の利用を積極的に行っている</li> </ul>	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保法人の各委員会でマニュアルを作成している</li> <li>・実際の訓練の他に、机上訓練も実施している</li> </ul>	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練ウィークを設け、どのよう日のどの子も避難訓練を行った。</li> <li>・土砂災害や地震は事前に職員だけで机上訓練を行い実施した</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体のマニュアル・個別のマニュアルを事務所の目につくところに貼っている</li> </ul>	・薬がかわった報告は家族からないのでモニタリング時に確認している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・全体で気を付けている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・作成しており、場に応じて対応している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	・何かあったとき(感染症・事故など)の緊急連絡網は出来ている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・該当することはすぐに報告、報告書を提出し、毎月の会議の中で話し合う	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月職員にアンケートを実施、振り返りをしている</li> <li>・動画視聴や研修の場も年に数回ある</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員に契約・契約更新時毎年 身体拘束(三原則含む)について説明し、サインをもらっている。拘束したと思われる事案は家族に報告、記録にも記載している</li> </ul>	